



みづのくの白くなりたる冬山に

むかひて吾は心をしづむ
齋藤茂吉 歌集『小園』より

提供/飯豊町



会長あいさつ

東京飯豊会会長 高橋正孝（中津川）

ふるさと飯豊町出身の皆様、本年も各分野にご活躍の事、お慶び申し上げます。飯豊町は昨年、町制施行50周年を迎え、記念式典が9月6日に町民センターにおいて挙行され、東京飯豊会もご招待を戴きました。9月6・7日と町をあげての華々しい記念諸行事、11団体に依る獅子踊り、新合唱組曲発表他が盛大に催されました事をご存知と思います。齋藤町長様から小中学生までより一層「魅力ある町づくり」「さらに元気で潤いに満ちた新たなる飯豊町の創造」の決意表明・宣言に「ふるさと飯豊」に誇りを新たに致しました。また、町立飯豊中学校創立50周年記念の年でもあり、その記念事業成功の為の協力要請を、会として取り組み、会員皆様の母校を愛する心の発露としてのご協力で大きな成果を挙げることが出来ました。ご協力戴いた会員皆様に改めて感謝申し上げます。また、中学校よりご提案の「修学旅行生と東京飯豊会員による交流会」もあり、生徒諸君の町を想うパフォーマンスを見せて頂き、私共との意見交換も短時間ながら

出来ました。私共には未体験の事でしたが、先生方、生徒諸君の期待に少しは応えられた事と思えます。発足2年目を迎えたいいで“Fun” Clubの秋田県先進地区視察旅行。「ダニエル会長とのいも煮会」にも参加いたしました。このたび「会則」を5年ぶりに微調整的に改正致しました。今後も皆様からご協力戴きました会費を大切に、ふるさと会維持発展に役員一同努力して参ります。

昨夏よりアメリカを震源地とした「サブプライムローン」破綻をきっかけに、世界同時の金融不安の深刻な経済状況の中、わが国においても格差社会の心が痛む社会現象、事件などと重なり、不安で身も心も休まらない日々であります。このような厳しい生活の中、ふるさとの飯豊山や白川のながれ、生家近辺の風景を思い浮かべるだけでも心休まるのは私だけではない事と想います。東京飯豊会総会・懇親会にお一人でも多くの町出身者皆様のご参加を戴き、共通の話題に花が咲き楽しいひと時になります事を心より願っております。併せて会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。



後藤幸平氏が町長就任

「新生飯豊町」スタート

任期満了に伴う町長選挙は、昨年十月十六日に告示され、新人三名が立候補し、白熱の選挙戦が展開されました。最終的な投票率は、八年前の町長選挙に比べて三・九七ポイント低い、八十八・〇%となりました。

即日開票の結果、後藤幸平氏が三千七百三十九票を獲得し当選が決定しました。

十一月七日、役場議場で町長就任式が行われ、後藤町長は、町の大きな政策目標として、人口減少に歯止めをかけ町の活気を取り戻す「にぎわい再現」、若者の雇用の場の確保、年少人口の歯止めと若者対策を掲げ、問

【新町長のプロフィール】

ごとう・こうへい ●昭和26年1月萩生まれ。昭和49年早稲田大学社会科学部卒。同年よりマルシチ米穀に入社し、「米と自然の探遊館」の建設や「生産者の見える米」の販売など、精力的に飯豊産米のピーアールと販路拡大に努める。また、町教育委員、町商工会理事、町農政審議会委員などを歴任し、教育から産業まで幅広く町の政策や課題に意見を述べてきた。母と妻、長男の4人暮らし。深刻な問題である「人口減少に歯止めを」などの公約を掲げ、町長選挙初当選を果たす。

11月7日職員に迎えられ初登庁する後藤町長



題解決と目標達成のため尽力して欲しいと、町職員へ訓示を述べました。さらに後藤町長は、「大切なことは、町民一人ひとりの夢を実現することです。町民の皆さんの悩み、課題を救い上げ、夢を形に変える。これが新生飯豊町の旗印です」と述べ、新しい飯豊町の姿を示しました。

「日本で最も美しい村」連合加盟

地域自体をブランド化し

“いいで”を全国へ発信！

昨年十月七日、徳島県上勝町で、「日本で最も美しい村」連合の第四回定期総会が開催されました。この中で、本町を含む七つの町村の新たな加盟が承認されました。

本町の審査の評価は、生活の営みにより作られた美しい田園散居集落の景観、中津川地区における里山文化（雪国の暮らしが根付く民家・草木塔など）、農村と都市との交流事業（山村留学、農家民宿など）、飯豊連峰の山岳地帯を加えたバランスの良い地域資源などが評価されました。「日本で最も美しい村」連合は、日本の農山漁村の景観や環境・文化を守る活動を目的とするNPO（特定非営利活動）法人で、自治体だけではなく、多くの民間企業や個人で構成されています。

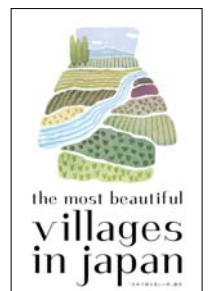
もともと「最も美しい村」の運動は、一九八二年にフランスで、六十四の村から始まりました。今では連合のマークがガイドブックや地図に載るほどで、旅行者の旅先の判断材料になって

います。さらにこの運動は、イ

タリア、ベルギーにも波及し、国際的に広がっています。

日本では、二〇〇五年十月に、北海道美瑛町や山形県大蔵村など七つの村からスタートしました。その後も美しい村を加えながら、今年度は七町村が仲間入りし、十八の村による連合となりました。

本町が「日本で最も美しい村」連合への参加を決めた理由は、その組織力とブランド力を大いに利用し、日本で最も美しい村“いいで”として全国にその名を広め、定住の促進やグリーン・ツーリズムによる経済の活性化などを図っていくことが大きな狙いです。そして今ある資源にますます磨きをかけ、将来へと引き継いでいきます。



写真／椿・辻地内

す。そして今ある資源にますます磨きをかけ、将来へと引き継いでいきます。



以前、私にとって故郷というのは、両親が何時でも手を上げて迎えてくれる心の拠り所であり、結婚後は子供を連れての帰郷により、子供に自然を感じさせ、且つ孫を見つめる両親の喜ぶ顔が見たい所であったに他ならない。

両親が亡くなり、始めて「私の故郷」というのは「山形県の飯豊町」であると…

飯豊の四季を感じ、思い出を辿り、生まれ育った故郷の地を改めて感じた様に思う友人に誘われ「東京飯豊会」に参加したのは、10年程前の事。当時兄達（川崎・東京）も時々参加していたとの事で、総会で兄弟との顔合わせという事もあり、身内同士で会うのとは、また違った出

会いに、お互い言葉を交し合ったものでした。また「小学校の頃、一緒に勉強したのよ！」「貴女の高校のセーラー服を見て、私もその高校を選んだのよ！」なんて声をかけて下さる懐かしい後輩達。昨年の会では、飯豊中学校の佐藤校長との久しぶりの再会！親戚でも飯豊と横浜では、なかなか会う機会がない中学時代には、一度も話した事がなかったであろうと思える同級生との交流も… 総会後の二次会では、何十年來の友人のごとく話に花が咲き時間が過ぎていく。何という不思議さ？ 家族・仕事仲間・友人達とはまた違った同郷の仲間との安らぎの時間である。今では、故郷飯豊の山々や田園風景が、私の里帰りを迎えてくれる。

人とのふれあい

鈴木 清子（高峰）



飯豊町を後にして早44年、すっかり東京の空気に馴染んで今現在は葛飾区、「柴又の寅」さんで有名な下町に住んで居ります。子供は親の背を見て育つと云いますが自分も年を重ねる毎に益々親を思い出します。今、色々な事の度に父や母の取であろう対処方法を思い、考えて行動する事が多く成りました。私達が育った頃は近隣の人達との助け合いが無いと生活が困難な時代でした。小学生の頃、雪が降ると当番制で学校までの道踏みを

して貰って登校してましたっけ。又お葬式の時も、5人組、10人組と近所の方々でお手伝いに行ったり来たりと、とても懐かしく思い出されます。最近は近隣との友好を深める事が少なく成って来た様に思われますが、幸い私が住んでる下町はまだまだ「お祭りだ」「フリーマーケットだ」又「引越した」といってお互いに交流する機会が在り満足しております。飯豊の山々と同じ様にそうした「人とのふれあい」を大切にこれからも生活してまいりたいと思います。

ばあばの独り言

岡山 悦子（黒沢）

日脚が短くなり秋風が吹き始めたこの頃、季節の移ろいがとても早く感じられ、少々とまどっています。人間も60才近くになると、自分の来し方を振り返ってみたり、夫婦の老後の設計図を引いたり・・・と何となくソワソワして来るものですね。子供達も独立し、孫も一人二人と生まれて家族が増え、30代、40代とは違った心配事や又楽しみ喜びを感じて、両親や人生の先輩達が歩いて来た道を私も歩いています。しかしながら自分が幼かった頃を思い返してみると現実は何？悲鳴を上げている地球、そして身の安全、食の安全がおびやかされている今、子や孫達の将来は、どのような状況の下に生きて行くのかと思うと不安にならざるを得ません。団塊の世代と言われる私達は、経済的にも物質的にもよりより豊かさを求めて突進し、目覚ましい進歩発展を遂げ、今の日本があるが、『大事な事』を置去りにして来



た云々・・・とされています。私が子供の頃の生活はもちろん貧しかったし、不便でした。特に冬などは家でも学校でも、隙間から雪が入り凍えていたし、馬の背骨と言われる雪道で、膝まで雪に埋もれました。そんな生活でも、四季折々の喜びが感じられたし、温もりのある生活だった様に思うのです。私達は今、全て昔に戻ることは出来ませんが、昔の生活の知恵や良さを振り返って見るのも置去りにして来た『大事な事』探しに連がるのかも知れません。古人は『子孫に美田を残すな』と言ったそうですが、私達大人は子や孫に何を残し伝えていくことが出来るのでしょうか？日々の生活の中で一息ついて、足下を見つめたとき、ヒントが得られ、本当の豊かさとか希望を子や孫にあげられるのでしょうか？

あ～肩が凝って来ました。
ばあばあはここでお茶を一服・・・





トッテ 馬車

我が家は小さな農家で、馬車引き、春夏秋冬の年3回のお蚕繭作りで生計を立てておりました。物心ついた頃は、冬になると雪が多く、友達と楽しく遊んだ思いでもありますが、辛い思い出も・・・小雪が降る頃から足が“しもやけ”になり、ひどく腫れ辛かったものです。良い薬もない時代でした。学校を卒業したら雪の降らない東京へと希望を膨らませていた少女時代でした。

我が家の冬の思い出では馬車引きです。雪が多く、バスも通らなくなる時期に、父は「トッテ馬車」を始めました。昭和23年頃だったと思いますが、当時はとても珍しかったものです。

椿駅前から長井までの区間でした。雪がなくなる春までの間『トッテ・トッ

テ』とラッパを吹きお客様を呼ぶのです。

馬の首に大きな鈴を付けて、大きな馬ぞりに屋根の付いた小屋・・・その中に置いた火鉢でぼかぼかと暖かくなっていて、お客様12人位が乗れるようになっておりました。

私は椿小学校だったので、登下校に乗せてもらうのがとても楽しみでした。『なんだ、トッテ馬車？そんなの知らねえよ』知らないかたが多いと思います。昔の思い出を書いて見ました。失礼！

故郷を離れて52年が過ぎました。現在は、4歳の男の子、2ヶ月の女の子、2人の孫に恵まれて、6人家族です。毎日が賑やかで、元気に過しています。2人の孫と飯豊町に帰る日を楽しみにしているこの頃です。ふるさと様、有難う！！



いいで “Fun” Clubの集いに参加して 新野 善行 (添川)

平成20年9月13日、白川ダム湖畔においていいで “Fun” Clubの芋煮会が開催された。当日は生憎の雨。テントの下での芋煮会となったが、ダニエル・カール会長の飯豊に対する愛情とユーモア溢れる挨拶の後、町を代表して斉藤町長の挨拶をいただいた。飯豊連峰を中心とした世界遺産申請のお話や、町の状況を説明いただき、高橋東京飯豊会会長の乾杯の音頭で芋煮会が始まった。

町の観光協会の方が、町内・外からの参加者約50名を一人ひとり紹介。東京、神奈川、埼玉、千葉など遠方からの参加者も。高名な写真家の佐藤

秀明先生は、写真愛好家と話が盛り上がり、また、参加者の中に民謡チャンピオンの方がおられ「最上川舟唄」が飛び出すなど、美味しい芋煮、漬物や玉こんにやくを肴にあちこちで歓談の輪ができた。

ファンクラブ会長は、得意の山形弁で会場をくまなく回って美味しい芋煮と心地よい会話にあってという間の3時間であった。

白川湖畔の対岸にはレンガ色のフォレスト飯豊が望まれ、雨に濡れ山霧がたなびく山々は一幅の山水画のようで「ふるさと・飯豊町」は晴雨にかかわらず心和ませてくれた。



古里の記憶今に生きる

佐原 芳弘 (小白川)

天狗山を真西の中心にして、朝日に映える新緑の風景。

天狗山の真上に左の山から右の山に架かった壮大な虹の橋。

天狗山から降りてくる燃えるような紅葉の彩り風景。天狗山の頂きが頭を出した水墨画のような初冬の風景私が生まれ育った自宅から眺め、胸をときめかせた風景である。

74年の人生のなかでこれ以上に感銘した風景に出会っていない。そしてこの風景の原点はいつも天狗山であった。これは私固有の大事な風景画の数々である。最近益々鮮明にこの風景画を鑑賞出来るようになった。それと小学生(当時国民学校)の頃、分教場の場長先生が和尚さんか誰だか忘れたがその人と夕方、パチンパチンと何かを打っている音をよく耳にした。親に聞くとあれは碁を打っている音だとの話だった。そして「あれは教養のある人の趣味」だと説明され、なにか頭に残るものがあった。当時将棋は覚えて遊んでいたが、よく親の死に目に見えないから止めろと叱られたものである。

その後東京に出て来て囲碁を覚えたが、必ずしも

教養のある人だけの趣味ではないことがわかった。覚えれば面白いもので、下宿先の近くにあった碁会所に足を運び、25歳ぐらいのときは初段程度の棋力になっていたと思う。退職時は3段程度になっていた。

68歳の時、川越市のシルバー人材センターに会員登録し、囲碁教室開設時の指導員募集に応募し、初心者の手解きに協力した。

受講生から先生は何段ですかと質問され、それほど強くないと印象をもたれた様で忸怩たる思いであった。これを切っ掛けに気持ちを新たに、いろいろ本を読んだり日本棋院に通ったりして、幸い73歳までに四段・五段・六段の免状をゲットすることができた。

我ながら最善の出来と思っている。この先七段は年齢的にも夢の世界である。

思えば親が「碁は教養人がやるもの」と言っていたことが、頭にこびりつき自分の意欲を奮い立たせたような気がしている。これも「今に生きている古里の記憶」である。

ボランティアばか

宮城 慶吾 (中津川)



小生 生まれ育ちは中津川。飯豊と白川朝昼晩と、<そこ>にあるのがあたりまえ。今じゃ懐かしあの風景。あんな悪ガキ今は埼玉。されど変わらぬ森林(やま)への思い。月に数日ボランティア、鋸、鉋、大鎌、剪定鋏、箆にロープに雨合羽、手製の弁当携えて、逸る気分を抑えつつ、鼻歌まじりで車を飛ばす。

月 日 行き先考え6時の出発。今日は東秩父村、白石峠の直ぐ近く「槻川源流の森」。ここの初回は平成9年。植えたコナラが千本弱、毎年2回の下刈り作業、今じゃ「中木」立派な姿。天気予報は雨のち曇り、かなりの降りもなんのその、現地の空に賭けるとす。 と 着いてみればうす曇。陽もなく蒸さず作業日日和。已む無し参加者たったの6名、されど兵(つわもの)作業に着手。各自一式腰に付け、ヘルメ、手袋、長靴と、

手には大鎌しっかと握り、滑るやま道一步ずつ、下草掻き分け作業地へ。急がず無理せず絶対安全、これを夫々確認し、持ち場に散って作業開始。今日の作業は下草刈り、広い範囲に人数足りず、手抜き承知の坪刈り方式。参加者何れもベテラン衆、順調そのもの作業は進む。・・・が 頃は10時悲鳴あり。イデェ〜、痛い！やられたー。察しの通りスズメ蜂。夢中のあまり周りを見ずに、警戒蜂を見逃した。やられた箇所はフクラハギ。全員下山し 害者の手当て。すごい腫れと咬まれ傷、毒液吸出し抗ヒス塗って、あとはひたすら冷やすだけ。本日はハチに降参ハイ解散。

・・・こんな調子で愉しんでいます。森林サポーターの名の通り、植林、間伐、枝打ち、下刈り。平地では落ち葉はき、果樹の剪定作業、屋敷林や竹林整理。こう並べるとくになにやさん？これ・>しかも手弁当で。ハイ生き甲斐なんです。

米作り交流

深瀬 忠次 (添川)



昔懐かしい太鼓の音が聞こえてきて心が浮かれる。夏祭りが落合第二小学校の校庭で行われる。そこでは地域の人達の盆踊りがある。夕方になると校庭には沢山の模擬店が出店して多くの人々で賑わう。数年前から稲作作りの交流から夏祭りの模擬店に町の農産物を出品する様になった。それは飯豊牛、葡萄、お酒等を飯豊町からは高橋さんはじめ、数人が参加し又東京飯豊会からは国分さん、



谷本さん、深瀬とで模擬店のお手伝いをする。特に飯豊牛には人気があって多くの人達がサイコロステーキを目当てに、煙がもくもくそして良い香りがして目の廻る忙しさ、汗だくになる。また宣伝の為に大声での掛け声、そして田舎言葉でしゃべる、うんまいか？子供達はもっと食べたーいと、真夏の夜の盆踊りで夜9時過ぎまで賑わう。これも町と学校、そして東京飯豊会の交流が出来て少しは役立った事と思います。これからも交流が続いてほしいと思っています。

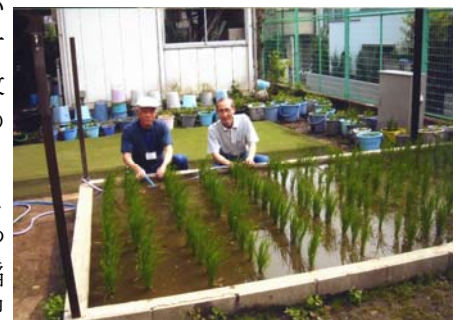
東京で米作り

国分 秀高 (萩生)



恒例となりました都内の小学校で5年生を対象として杉並第六小学校、新宿落合小学校で稲作りを実施することになり、活動が始まりました。指導はJAおきたま青年部飯豊地区添川支部長の岩瀬様を中心に五名と東京飯豊会のメンバー三名と共に、六月の田植から始まり、稲の育ちを見ながら水の管理等をして来ました。夏休みに入り、子供たちも当番制で水やりと積極的に活動し、苗も順調に育ち、八月後半には稲穂も出揃いました。そして、実りの秋を迎えて、稲刈り、脱穀と収穫となりました。子供達も自分の手で米作りの体験をし、物作りの喜びと大切さを感じたことと思います。そして、杉並第六小学校の生徒と父兄約三十名が添川地区で田植と刈り取りの農作業を広大な田ん

ぼの中で体験し、大きな成果をあげたとのことでした。また、校長先生が新潟県出身で女性の校長先生ですが、話をする時東北弁で話すと“なまり”が懐かしい言葉ですねと言われ、やはり故郷を思い出すのでしょうか？また「来年もよろしく」と言われ、子供達に稲作りの体験学習をさせてあげたいと言う強い思いが伺われました。そして、この体験をしながら、飯豊町との交流がますます発展してゆく事を願っております。



飯 豊 町 5 0 周 年 記 念 特 集

町制施行50周年記念式典に参加して

幹事長 渡部志郎



町制施行50周年記念式典にお招き・参加させて頂いた。式典には町内はもとより、町外の参列者も多く盛大な式典に町長はじめ、来賓の方々的心温まる挨拶の他、交流都市、桶川市長とのTV電話による挨拶、そして中学生による、力強い50周年宣言、これは私達の中学時代(昭和36年～)とは違うしっかりした将来の考えを持った子供達に、強く肌で感じとれました、生まれ育ったふるさとを、先人から受け継がれた知恵と文化、そして恵まれた大自然を、今以上自分達の手で支え向上させなければいけない。自慢すべく町として頼もしさも感じました。又、町のイメージソングを作って下さった作詞家・村田さち子先生の挨拶に続き、小学生50人による「ラブリーホームタウンのいつ

も心に」の大合唱には参加された皆さんが、歌に合わせリズムをとりながら聞き入っていたのがとても印象深いひとときでした。心ひとつになったあとの、八代英太氏による「福祉の心とまちづくり」の記念講演、これからの高齢化社会に、福祉の充実がいかに大事な事か、町と一体になり取り組んでいかねばならない問題を、ユーモアを交えての講演、力説され感動させられました。記念行事の続く中、会場外では「めざみの里まつり」とし町内11神社に纏わる、獅子の競演が行われ、めったに見ることの出来ない盛り上がり、味合わせて頂く事ができました。これらの祭神に守られながら、これまで培われて来た伝統と文化、そして、更なる町の発展を祈りつつ式典参加への感謝の気持ちを述べさせて頂きました。

飯豊中学校創立50周年記念式典に参加して

副会長 国分秀高



平成20年9月1日創立50周年記念式典に招待を戴き、東京飯豊会を代表し出席をして来ました。中部・西部・東部の3中学校を統合し、飯豊中学校となり、校訓「日々明朗 日々努力」(初代渡部校長)をもとに生成発展を遂げ、50年を迎えました。式典は町内及び各界からの代表者の出席を仰ぎ、盛大に行われました。校歌の斉唱に始まり、長沼実行委員長、齋藤町長、佐藤校長、島貫生徒会長ら祝辞、謝辞、挨拶がありました。その後、記念事業の重要の一つである建設された「校門」のテープカットが行われました。それぞれに伝統に裏付けられた歴史の中で、生徒さんの育成があり、生徒はそれに応える努力が成されてきた事を思うとき、感慨深いものがありました。更に「旅する人間」と題して講演を田林暁一先生

からあり、懇親会となりました。そこかしこに思い出を語り合う風景を目の当たりにし、心一つにすることが出来た時間でした。その後、「飯豊中学校50周年記念誌」を手にし、当時の情景を思い出しながらページめくり、読ませて頂きました。今更ながら、私の中学生時代を省みると、今の生徒は立派だなーと感心するばかりです。その中で、有名な伝統として「無言膝つき清掃」がある事を知りました。人間陶冶はこれだと合点がいったころ、テレビで同じような場面が放映されておりました。さらに登下校時に校門を前にして帽子を取って敬礼をしている姿を見たとき、飯豊中学校も本記念事業で「校門」も出来たことだし魂の入った新しい伝統になれば良いなと思い、記させて頂きました。飯豊中学校の益々のご発展をお祈りいたします。

飯豊中・修学旅行生との交流会に参加して

事務局

井上和雄



9月10日(水)午後 東京・千駄ヶ谷の日本青年館ホテルにて修学旅行中の飯豊中学校2年生66名の皆さんと当会より高橋会長はじめ役員8名が出席し、交流会が開催されました。東京飯豊会出席者の自己紹介、高橋会長挨拶、生徒達自作の飯豊町のCM披露、6班に別れて生徒達との飯豊町の良さ、町の未来についての意見交換会、合唱披露(組曲COSMOS、飯豊中学校校歌)、飯豊会出席者から感想発表、お礼の言葉、生徒手作りの式次第で元気の良い、きびきびした行動であつと言う間に交流会が終了しました。飯豊町のCM披露や意見交換会で飯豊町の自然の美しさ、米や山菜・野菜等の食べ物のおいし

皆さんの修学旅行と比べて如何ですか!!

さ、飯豊町民の心の豊かさ、人間性の良さをしっかり認識し、誇りに想い、守り育てて行こうとする生徒達にたくましさを感じました。修学旅行日程も①観劇『劇団四季キャッツ』②東京ディズニーランド③国会議事堂④浅草・上野公園・・・私の時代は皇居・二重橋前で記念撮影、上野動物園、浅草国際劇場ラインダンス見物。修学旅行も随分変わりましたねー又このような機会があれば参加してみたいものです!



真剣な眼差しで語り合う



合唱風景

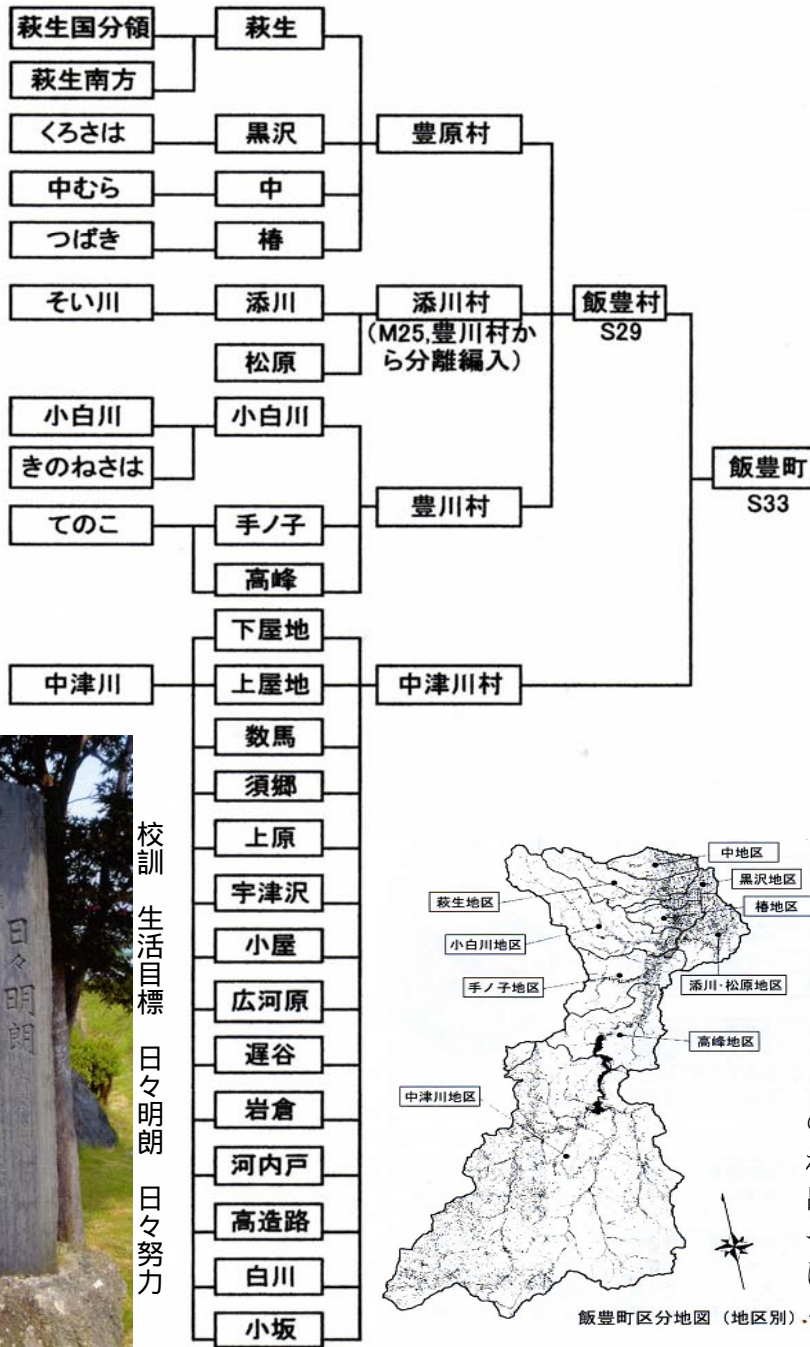


中学生よりお礼の手紙

飯豊町における村落の系譜：しってござったか〜

年次	1538年 (天文7年)	1827年 (文政10年)	1889年 (明治22年)	1954~1958年 (昭和29年~35年)
出典等	「御殿銭古帳」 (郷)	「村目録」 (村)	(町村制施行) (村)	(町村合併) (村、町)

系譜・町村名は出典記載のままとした



えま (今) の飯豊町はなじよな (どんな) 部落の集まりだったんべー。むがし (昔) のごどをし (知) るごども大事よな一。ほんじゃま〜 (それでは) ししやべで (調べて) みっかは〜 (見ましようか) 昔、昔? あったどな。―― 飯豊町になってから50年たったも470年前からは大分変わったもんだなし!! とーびんと

昔懐かしい場所

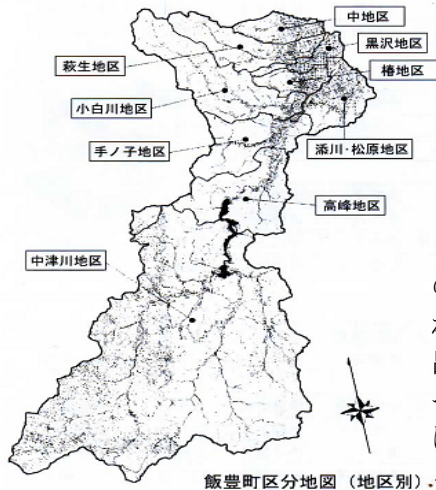
*** 椿地区** 小川 悦男
昭和20年代小学生の頃の遊び場所は椿上野「本長寺」の境内でした。誰が呼びかけるとも無く集まり野球をして遊んだ事が脳裏に浮かびます。今、その場所に立ち「こんなに狭かったのか」と今更ながら昔を懐かしく思い出しています。

*** 小白川地区** 鈴木 伊勢夫
小白川分教場 (当時の呼び名) の近くの山で「きのこ狩り」で採れた“きのこ”を煮て食べた思い出。田んぼでイナゴを捕まえ学校へ持ち寄った事 (教材の購入資金に成ったのか?) 「松根油」を作る為にみんなで松の根を掘り起こした事は (戦場に向う特攻隊の飛行機の燃料との話) 戦争の悲惨を実感させられた思い出。

*** 高峰地区** 大城 忠夫
家の近くの白川、透き通ったきれいな水と川原が格好の遊び場。プールの無い時代、大人達が指定した安全な遊泳区域で泳ぎ、又他の地域への遠征した泳ぎも楽しい思い出です。



校訓 生活目標 日々明朗 日々努力



飯豊町区分地図 (地区別)



飯豊中・創立50周年記念事業により校門建立

町長さんが交替されました！

みなさまご存じのように故郷において昨年町長選挙が行われ、後藤幸平氏が新町長に就任されました。前町長の齋藤氏は町当局幹部として、渡部町長の代理として、また、町長としても2期、東京飯豊会総会にもご参列席下さり、東京飯豊会の各種記念イベントなどにもご協力戴きました。永年にわたり私どもの故郷に対する熱い思いを受け止めて頂きました事に深く感謝申し上げます。

後藤町長様には、平成3年「東京飯豊会30周

年記念故郷訪問バスツアー」の際、立ち寄らせて頂いた「探遊館」のオーナーであられると認識致しております。町の代表的な産業である農業を時代の要求に応えるべく深く広い視野に立ち先進的の事業を発展せられました。誠に街にふさわしい実力者が今日町民のリーダーになられた事にお喜び申し上げます。私ども東京飯豊会48年の歴史を通じ歴代町長様のご指導ご協力を、会員を代表し、これからも引き続き宜しくお願い申し上げます。

東京飯豊会会長 高橋 正孝

第47回東京飯豊会総会・懇親会盛大に挙行さる

3月30日(日)日暮里のホテルラングウッドで開催しました。会員様始め250名余参加と齋藤飯豊町町長、菅野町議会議長、議員の皆様・町行政関係者、東京川西会、関東致芳会、花回廊ようざんロードを作る会の各友誼交流団体をお招きし開催しました。第一部の総会において、高橋会長の挨拶に続き、会務報告、会計報告、会計監査と議事を進め、齋藤町長からはご挨拶を頂き、舟山飯豊町政策調整担当課長から、いいで“Funclub”活動状況、また長沼飯豊中学校同窓会長から50周年記念行事の計画と賛助要請等がありました。第二部はアトラクションとして米沢興醸館高校出身の松倉とし子&鹿島武臣(ホニージャックス)によるCDアルバム発表会と題してコンサートを行いました。「涙そうそう」「シクラメンのかおり」など披露され、アンコール曲も好評でし

た。第三部は菅野町議会議長の乾杯で始まり、きな粉・あんこ餅が出で“これがないとなあ〜”と舌鼓。町特産のどぶろくやお酒をあじわい、料理を食べて、地区毎のテーブルをも越えての歓談に時間を忘れるばかり。お待ちかねのお楽しみ抽選会へと移り、番号を読み上げられるつど歓声と「番号札」を見比べての期待が交錯したひと時。「ふるさと」の歌を全員で合唱、そして、長沼町議会副議長、小関監査役による万歳三唱が行われ、喜びのうちまた来年を約し無事閉会となりました。めざまの里物産館に出店頂いた特産品即売会でおみやげを求め家路に着されました。総会・懇親会の模様を下記のスナップで思い出し、また雰囲気をお感じ取りください。

祝才47回東京飯豊会総会



東京飯豊会会則

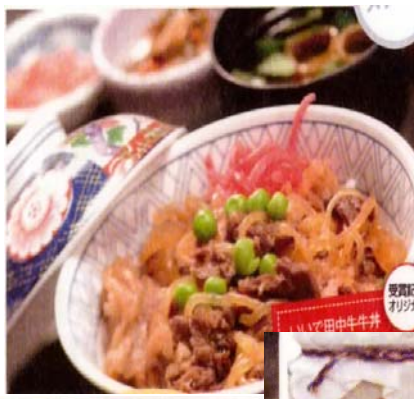
- 第1条 名称 本会は東京飯豊会と称する。
- 第2条 会員資格 本会は山形県飯豊町出身者で、東京および東京近県内に居住する者で組織する。
また、出身者の縁故者で希望するものは入会を許可する。
- 第3条 目的 本会は会員の親睦と郷里との交流等に関する事業を行い、これらを通じて互助共栄を図ることを目的とする。
- 第4条 会費 会員は会の維持費として、一家族当たり年間 1500 円の会費を納入するものとする。
本会の運営費は会費、事業収入、寄付金及びその他の収入をもってこれに当てる。
- 第5条 役員 本会は下記の役員をおく。
会長 1名 副会長 若干名 幹事長 1名 副幹事長 若干名
事務局長 1名 広報部長 1名 企画部長 1名 会計部長 1名
会計 若干名 会計監査 2名 幹事 若干名
- 第6条 役員選出 会長の選出は役員会が行い、その他の役員は会長が任命する。役員任期は2年とし、再任を妨げない。役員は任期終了後でも後任者の就任までその任にあたるものとする。
- 第7条 役員の任務
1. 会長は本会を代表して会務を総括する。副会長は会長を補佐する。
 2. 幹事長は会長の指示により役員会を召集し、会務を役員会に諮り、実務を具体化する。副幹事長は幹事長を補佐する。幹事は実務を担当する。
 3. 事務局長は立案された会務を幹事長と協力し、事務全般を行う。
 4. 広報部長は会報の発行、事業の広報に関する実務を総括する。
 5. 企画部長は事業を行うための企画を立案し、役員会に諮る。
 6. 会計部長は会費の徴収、予算の立案、事業費の収支等の実務を総括し、会計報告を役員会に報告し、決算報告を総会において行う。
 7. 会計監査は会計及び財務について監査し役員会及び総会に報告する。
- 第8条 特別役員 本会に最高顧問、顧問、相談役をおくことができる。最高顧問、顧問、相談役は役員会の議決を得て会長が委嘱する。
- 第9条 総会 本会の総会は年1回開き、会計、人事、事業等運営に関する事項を報告する。
- 第10条 会計年度 会計年度は1月1日～12月31日までとする。
- 第11条 会運営 本会の運営は会の目的遂行のための事案を、総て会長の招集する役員会にて協議し決定する。
- 第12条 七役会 本会の運営は七役会にて立案し、役員会において決定することができる。
七役会は会長、副会長、幹事長、事務局長、広報部長、企画部長、会計部長にて構成する。
- 第13条 顕彰・慶弔 役員会は本会のために多大な貢献したと認められる会員、個人、団体を顕彰、見舞い、慶弔することが出来る。
- 第14条 禁止行為 本会組織を利用して宗教・政治・個人営利目的の活動を禁止する。また本会の目的、主旨に反する行為を禁止する。これに反する者は退会させることが出来る。
- 第15条 届出 会員はその住所、氏名を本会事務局に通知することを義務とする。その後の変更時は遅滞なく通知するものとする。
- 第16条 委任 会則に定めない事項及び運営上必要な事項は、別に定める。
- 第17条 規約改正 本会則の改正は役員会の議決を経て、これを決する。
- 第18条 事務所 本会の事務所は事務局長方に置く。
- 付則
1. 本会は1年に1回会報を発行する
 2. 会則改訂 平成21年1月1日

[黒沢] 17	梅津勝美 佐藤留喜 匿名希望	梅津茂夫 島貫富栄	遠藤ヨ子 中根友利子	岡山悦子 原田洋子	蒲谷春夫 平山くに	菅野由佳 丸山さく	小林 秀 峯村広義	佐藤忠志 村田しづ
[小白川] 21	安部春次 佐原芳弘 舟山吉次	五十嵐信次 佐原政晴 舟山茂文	石島サダ 平 君代 舟山睦男	伊藤長七 高橋八郎 溝呂木清治	上田 隆 田辺利彦 渡部昭雄	大石 亨 為藤よしゑ	太田節子 千葉マサヨ	小野幸一 二瓶武司
[添川松原] 34	芦川裕子 勝見祐市 佐藤よね子 二瓶吉男 山口紘紀	安部正良 木村優子 庄子良子 早野礼子 山水まさ	伊藤憲子 金原ちゑ子 鈴木孝男 船山勝良	宇田京子 小松 巖 高橋はま子 舟山美代	梅津 勲 小松勇吉 田中とし子 前柳ヨシ	遠藤 清 斉藤 勝 中山みえ子 村田忠一	小関こう 斉藤良一 新野善行 森田みさ子	勝見俊秀 佐藤幸司 二瓶文夫 森 博子
[高峰] 15	伊藤正光 坪川民主	井上志げ 林 洋子	井上武雄 本間 元	井上名七 本間昭二	沖田みゑ子 矢部みを子	川口茂夫 山本エイ子	佐藤 剛 横山文男	鈴木清子
[椿] 20	青木典子 太田千代子 田村藤子	安部貞夫 岡 文子 新野豊明	伊藤幸輔 岡本輝子 本間總子	伊藤順康 川嶋トシ子 松山倉夫	伊藤清一 後藤キミ	伊藤薫男 小林まち	伊藤正義 高橋叔子	上原ハルヨ 高橋弘子
[手ノ子] 19	池田典子 島田源三 舟山清成	今原幸子 鈴木貞次 舟山繁勝	大野シヰエ 鈴木三男 横山ユウ子	奥山俊昭 関口つや子	奥山保弘 高石京一	小池喜美恵 竹田輝夫	佐村孝作 竹田元雄	佐山次夫 田中二男
[中] 33	栗飯原操 小黒八重子 島貫正十三 長岡俊昭 渡部義男	青木道子 菅野義徳 城戸かつこ 長岡雄三	青木しげ子 菊地美代子 鈴木梅子 錦織明美	朝倉重美 木村幸子 鈴木昭作 野原致子	朝倉 建 工藤コウ 鈴木謙治 峯田有一	安達宮子 左東久子 高橋英子 村上徳栄	位下和子 篠原五郎次 田所昌子 若林敬一	臼井八重子 嶋貫 浩 長岡信司 渡部聡征
[中津川] 22	伊藤弘介 古藤光康 高橋幸雄	伊藤公八 近藤和子 丸山光雄	伊藤孝美 早乙女ヨ子 山口哲男	井上啓助 佐藤栄子 山口和吉	井上 仁 鈴木政次 渡辺カツ子	小川京子 鈴木芳助 渡辺常雄	後藤篤志 鈴木 萬	後藤昭輔 鈴木紘征
[菘生] 50	浅間朝子 海老沢真砂子 金子ゆき 坂本喜美子 高橋清美 那須ヨ子 渡部とく	安藤梅子 大家梅子 菅 利夫 桜井登美子 高橋茂夫 長谷部たまの 渡部博士	伊東武義 岡野芳子 木村 清 佐藤豊子 高橋みつ 樋口昭三	伊東俊夫 小野寺瑠璃子 木村俊三 柴田かね子 滝浪とも 樋口 孝	浮谷栄子 折原うめ 組谷信子 東海林房子 手塚 太 廣瀬廣子	宇津木秀三 嘉藤 功 後藤節子 鈴木俊子 富永信子 森田希世	宇津木吉美 嘉藤秀一 小林スイ 高橋 昭 中山淑子 山田正子	梅津文蔵 嘉藤六郎 坂田美江子 高橋勝治 中西 孝 渡部新吾
[役員] 39	浅野慶吉 織田英昭 志田幸次 手塚敏浩 深瀬忠次	池田さだ 川合かよ子 志田義雄 手塚久雄 宮城慶吾	伊藤 茂 幸田あや子 島田栄子 中澤サタ 八鍬勝夫	井上和雄 国分秀高 鈴木伊勢夫 長沼 清 山口弘二	今村ひろ子 小関恭雄 須藤勝志 中村美寿 山口美恵子	男鹿善次 佐藤善治 高橋正孝 新野孝司 横山忠雄	小笠原辰男 佐藤包子 谷本亮司 二瓶孝徳 渡部志郎	小川悦男 佐原利博 土田正一 樋口昭二

270 会員皆様方に年会費を納入頂き、会の運営・維持並びに、会報第7号を発行する事が出来ました。ありがとうございました。

道の駅 いいで

めざまみの里観光物産館



インターネットで故郷の味をお取り寄せ出来ます。



駅長から一言!

ござっとこやえ～

親しみやすさを大事にしています。

「入りやすくして長居したくなる駅が目標です。蔵をイメージした建物とスタッフの人懐っこさが、入りやすい雰囲気を出して、気軽に立ち寄れるとお客さんにも評判です。名物の芋煮を食べながらゆっくりござっとこやえな」

専務取締役 安達純一さん

▲あけがらし 680円
麻の実を加えたからしもろみ。炊きたてごはん

▲沿線道路の交通量に対する立ち寄り率が24.8%。これは平均の倍以上の数値

▶1個120gもの大きさ/揚げたてのさくさく衣はしゃがいがいもの甘さがたまらない休日には長い列ができる

4米沢牛コロケ 150円

TEL.0238(86)3939

道の駅 いいで

検索



Michinoeki.IIDE めざまみの里観光物産館

ほんのちょっといい話

健康は健体康心の略。「健体」は無論。「康心」を鍛えるトレーニングをやっていますか。これが不足すると、精神の乱れが生じ、躁鬱、不定愁訴、切れる状態でのいじめ、暴力果ては殺人そして自殺と悲惨な事態が生まれてしまいます。そこで、毎日の生活の中で気に入って「良き思い、良き言葉、良き行

動」を積み重ねることだそうです。良き言葉「愛と感謝とありがとう」を常に発信し続けることだそうです。

「今日一日、今日（こんにち）まで、生かしていただき、ありがとうございます」を口ずさんでおります。翌朝は又今日になるゆえ、永久に今日に生きることになるのです。（新野 記）

広報部からのお願い

次号に向け、会員の皆様からの原稿、ふるさとの思い出、生きてきたこと、同級会案内、尋ね人、日常の何気ない気付き、短歌・俳句など何でも（600字程度）を下記までお寄せ下さい。お待ちしております。

*今回から広告掲載は個人の方からも受け入れることに致しました。次号への掲載をお待ちしております。

広報部長 新野 孝司
TEL&FAX: 045-481-4554
〒221-0862 横浜市神奈川区三枚町138-23
事務局 志田 義雄
TEL: 049-244-3940
〒350-1136 川越市下新河岸69-66

編集後記

ふるさと飯豊町は昨年、町制施行50周年、飯豊中学校創立50周年と節目を迎える年でした。

それぞれの刻まれた時間を振り返る時、皆様はどのような感慨を持たれた事でしょうか。

一方、修学旅行生徒との交流によって、ふるさとは懐かしいだけでなく、大地にしっかり根を下ろし、将来をきちんと見据えている生徒を真にした時、感激で一杯でした。ふるさとを愛することは自然を愛するのみでなく人を愛することだと実感した次第です。NHKドラマ「天地人」のテーマは「愛と義」：戦国の世を通じ、失いつつあるものを持つべきとの示唆。今米沢を舞台にした話を勉強し、ふるさとの人そして風土を誇りとし、周りに語り部として伝えていくつもりです。

今回、宮城、志田、井上、斉藤、深瀬、新野が編集に携わりました。

華麗に 清らかに
夏のシンフォニー

どんでん平ゆり園

150品種、50万本のゆりが咲き誇る——。



園内施設情報

レストハウス

「ゆり園」自慢の美味料理・軽食をご用意しています。山菜そばや「ゆりうどん」をはじめ、「ゆりソフト」などなど、おいしいで田中牛の焼肉も美味です。

花売店

様々な「ゆり」をはじめ、毎の花々を一同に揃えて、皆様をお待ちしています。

開園時間

6/ 月上旬 ▶ 7/ 下旬
午前 9:00
午後 5:00

入場料

大人 16歳(高校生)以上 ▶ 600円 / 団体 540円
小中学生 ▶ 200円 / 団体 180円
幼児 ▶ 無料

※ペットを連れてのご来園及び、飲食物の持込は、ご遠慮ください。

皆さんのふる里から

飯豊米



お届けいたします

お問い合わせは 添川の

純ちゃんふあ〜む 代表 新野純一

TEL 0238-74-2105

FAX 0238-74-2031

e-メール ginnami@beige.plala.or.jp